

## 第4章

# 文化財に関する調査

### 1節 文化財に関する調査の概要

鹿角地域では文化財に関する調査が鹿角市と小坂町だけでなく、国・県・団体・個人などにより実施された。

#### 1. 既存調査の概要(調査報告書等の詳細は資料編参照)

##### (1)自治体史

鹿角市・小坂町・秋田県はそれぞれ自治体史の編さんに伴い、調査を実施した。それぞれ『鹿角市史』(昭和57(1982)年～平成9(1997)年)、『小坂町史』(昭和50(1975)年)及び『新編小坂町史』(令和5(2023)年)、『秋田県史』(昭和37(1962)年～昭和41(1966)年)を刊行した。鹿角市史の編さん事業では、鹿角市内の各地区の調査を行い、『八幡平の民俗』(平成元(1989)年)などを刊行した。また旧花輪町は『鹿角のあゆみ』(昭和44(1969)年)、鹿角市は『花輪町誌編纂資料』(昭和47(1972)年・50(1975)年)など地域の歴史をまとめた。

##### (2)国・県・市町による調査報告書

文化庁・秋田県教育委員会は、文化財類型ごとの総合調査を実施し、報告書を刊行した。『秋田県の近代化遺産』(平成4(1992)年)や『近代遺跡調査報告書-鉱山-』(平成14(2006)年)などがある。

鹿角市は、『鹿角市の石造物』など市史編さんに伴い類型ごとの調査成果や『八幡平の民俗』(平成元(1989)年)など各地区の調査成果を刊行した。また市指定の無形の民俗文化財及び有形の民俗文化財の調査を実施し、報告書を刊行した。

##### (3)埋蔵文化財調査報告書

秋田県教育委員会・鹿角市教育委員会はそれぞれ発掘調査を実施し報告書を刊行した。東北縦貫自動車道整備や県道田山・花輪線といった道路整備に係る発掘調査が主である。また、昭和6(1931)年発見以降大湯環状列石とその周辺の発掘調査や、鹿角市内遺跡分布調査を実施した。小坂町教育委員会は小坂環状列石墳墓の報告書を刊行した。

##### (4)博物館・大学等作成図書(調査報告書・展示図録・収蔵資料目録等)

秋田県立博物館・鹿角地域の博物館施設や大学、団体は、鹿角市・小坂町・秋田県が所蔵する資料などの調査・研究、資料目録、図録などを刊行した。

##### (5)文化財所有者等による報告書

所有者が実施した調査や保存修理に際して報告書を刊行した。『花輪祭の屋台行事「腰抜け屋台」伝承のための保存修理調査委員会報告書』(平成27(2015)年)や『渡部家史料館研究資料集』(平成20(2008)年・平成28(2016)年・令和元(2019)年・令和3(2021)年)などがある。

##### (6)郷土史等

地域で活動する歴史研究などの団体が地域の歴史に関する調査成果を刊行した。また、近世以降に紀行家などが作成した地誌類もある。

## 2. 文化財調査状況

### (1) 文化財の類型・地区別把握状況

鹿角地域の文化財の類型別・地区別の把握状況は以下のとおりである。

鹿角市の4地区は、市史編さんに伴い文化財の把握のために調査し、報告書を刊行するなど把握が進んでいる。しかし有形文化財の書跡・典籍などの調査が不十分である。また、調査から年数が経過し、現状調査が必要である。鹿角市教育委員会は、国・県の建造物調査を契機に、建造物を調査したが、全域の把握に至っていない。

小坂地区は、小坂町史編さんに伴い古文書などを調査したが、文化財の類型別報告書は刊行していない。

#### ●地区別文化財把握状況(令和7(2025)年8月現在)

区分		全域	小坂	十和田	花輪	尾去沢	八幡平	
有形文化財	建造物	△	△	△	△	△	△	
	美術工芸品	絵画	△	△	△	△	△	△
		彫刻	△	△	△	△	△	△
		工芸品	△	×	△	△	△	△
		書跡・典籍	△	×	△	△	△	△
		古文書	○	△	○	○	○	○
		考古資料	○	△	○	○	○	○
		歴史資料	△	△	△	△	△	△
無形文化財	△	△	△	△	△	△		
民俗文化財	有形の民俗文化財	○	△	○	○	○	○	
	無形の民俗文化財	○	△	○	○	○	○	
記念物	遺跡	○	△	○	○	○	○	
	名勝地	△	△	△	△	△	△	
	動物・植物・地質鉱物	△	△	△	△	△	△	
文化的景観	△	△	△	△	△	△		
伝統的建造物群	△	△	△	△	△	△		
その他	口承文芸	○	△	○	○	○	○	
	地名	○	△	○	○	○	○	
	湧水・清水	△	×	△	△	△	△	
	方言	○	△	△	△	△	△	

※「○」は把握が進み、調査も十分にできている。

「○」は把握が進み、ある程度調査ができている。

「△」は一部のみ把握できており、今後調査が必要。

「×」はこれまで調査を行っておらず、今後調査が必要。

## ①有形文化財

### ア. 建造物

文化庁・秋田県教育委員会が近代化遺産総合調査、秋田県近代和風建築総合調査を実施した。鹿角市教育委員会は市内における把握調査を実施し『鹿角市の建造物』(昭和55(1980)年・昭和56(1981)年・昭和58(1983)年)を刊行した。

### イ. 美術工芸品

#### ・ 絵画

鹿角市教育委員会は『川口月嶺-川口月嶺調査報告書』(昭和51(1976)年)、小坂町教育委員会は『郷土の画人福田豊四郎絵画調査報告書』(昭和53(1978)年)で調査を実施した。このほかの画家の調査は部分的である。

#### ・ 彫刻

秋田県教育委員会は『秋田の仏像と寺社什物』(秋田県文化財調査報告書第504・522・531集、平成28(2016)年・平成31(2019)年・令和3(2021)年)で県内の主な仏像彫刻の概要を調査した。

#### ・ 工芸

鹿角市と小坂町ともに把握調査は未実施である。鹿角市教育委員会は文化財指定に際して個別の調査を実施した。

#### ・ 書跡・典籍

鹿角市は市史編さんに伴い古文書などの把握調査を実施し、文書類はすべて古文書のなかに分類される。今後調査によって書跡・典籍が一定数あるものと推測される。小坂町は未実施である。

#### ・ 古文書

鹿角市は市史編さんに伴い把握調査を実施した。鹿角市と小坂町はそれぞれ自治体史編さんに伴い一部の史料を解読し、報告書を刊行した。

#### ・ 考古資料

秋田県教育委員会・鹿角市教育委員会はそれぞれ発掘調査の成果として、報告書を刊行した。鹿角市教育委員会は、『大湯環状列石(1)』で大湯環状列石出土資料の調査を行っている。

#### ・ 歴史資料

鹿角市は市史編さんに伴い、石造物の把握調査を実施し、『鹿角市の石造物』(平成2(1990)年)を刊行した。また、集落に残る石碑・石仏や戊辰戦争の戦没者の墓誌の調査を実施した。小坂町教育委員会は、本地域計画の作成にあたり、石造物の把握調査を行ったが、一部にとどまる。

## ②無形文化財

工芸技術は、秋田県教育委員会が把握調査を実施し、『秋田の工芸技術』(秋田県文化財調査報告書第105集、昭和58(1983)年)を刊行した。また、秋田県教育委員会は『あきたの工芸』(お宝発見ハンドブック-工芸技術編、平成19(2007)年)で紫根染・茜染の調査を実施した。

## ③民俗文化財

### ア. 有形の民俗文化財

秋田県教育委員会・鹿角市教育委員会はそれぞれ指定文化財の調査を実施した。小坂町教育委員会は博物館収蔵資料以外の民俗文化財の調査実施していない。マタギ資料は秋田県立博物館の『研究報告第4号』(昭和54(1979)年)でわずかに調査が実施された。

### イ. 無形の民俗文化財

秋田県教育委員会・国際教養大学は民俗芸能などの総合的な調査を実施し、秋田県教育委員会は『秋田県民俗芸能緊急調査』(平成5(1993)年)、『秋田県の祭り・行事』(平成9(1997)年)を刊行した。また秋田県教育委員会・鹿角市教育委員会・小坂町教育委員会はそれぞれ指定文化財の調査を実施した。鹿角市は市史編さんに伴い、民俗の調査を実施し『八幡平の民俗』(平成元(1989)年)などに調査成果をまとめた。小坂町は町史編さんに

伴い民俗調査を実施した。また、鹿角市教育委員会と小坂町教育委員会は、本地域計画の作成にあたり、年中行事の把握調査などを行っている。

民謡は秋田県教育委員会が『秋田県の民謡』（秋田県文化財調査報告書第175集、昭和61(1986)年）を刊行した。鹿角市は市史編さんに伴い、把握調査を実施した。

食文化は、秋田県教育委員会が『秋田県の郷土食』（令和6(2024)年）で調査を実施した。鹿角市は市史編さんに伴い把握調査を実施したほか、レシピ集をまとめている。

#### ④記念物

##### ア. 遺跡

鹿角市教育委員会と小坂町教育委員会は遺跡詳細分布調査を実施し埋蔵文化財を把握している。鹿角市教育委員会は発掘調査に伴い調査報告書を刊行したほか、文化財指定に際して個別の調査を実施した。

歴史の道は、秋田県教育委員会が来満街道、濁川街道、鹿角街道の調査を実施し報告書を刊行した。小坂町は学術専門機関・民間有志が十和田古道の調査を実施し、書籍を刊行した。

##### イ. 名勝地

鹿角市と小坂町ともに把握調査は実施していない。

##### ウ. 動物・植物・地質鉱物

秋田県教育委員会が『名勝・天然記念物』及び『地質鉱物』の緊急調査を実施した。地域団体などにより巨木の把握調査が行われた。

鹿角市教育委員会は市指定の下川原のトゲウオ生息地の環境調査を環境保護団体とともに実施し報告書を刊行した。また鹿角市教育委員会は、『泉沢恒蔵<sup>いづみさわこうぞう</sup> 立山廉吉 植物標本目録』を刊行した。

#### ⑤文化的景観

鹿角市と小坂町ともに把握調査は実施していないが、秋田県による「守りたい秋田の里地里山50」に4か所の農村景観が認定された。

#### ⑥伝統的建造物群

秋田県立大学などが花輪地区や十和田地区毛馬内区域のコミセ(コモセ)を持つ町家などの調査を実施した。

#### ⑦その他

方言は秋田県教育委員会が把握調査を実施し『秋田のことば』（無明舎、平成12(2000)年）を刊行した。

昔話・伝説・言い伝えなどは秋田県が「秋田の昔話・伝説・世間話-口承文芸検索システム」を公開している。また鹿角市・鹿角市教育委員会は地域に伝わる主な伝説・民話を収集し、『伝説の里 鹿角』（昭和55(1980)年）、『陸中の国 鹿角のむかしっこ』（平成3(1991)年）、『陸中の国 鹿角の伝説』（平成4(1992)年）を刊行した。東京経済大学民話愛好会は『民話伝承秋田県鹿角市』（昭和52(1977)年）で伝説・民話の把握調査を実施した。

### 3. 住民が大切にしたいもの

本地域計画の作成にあたり、住民の意見を聞き地域計画に反映させるため、地域ワーキングを実施した。この地域ワーキングは、地域の文化的・歴史的な関係性を考慮し、北から小坂地区十和田湖区域、十和田湖区域を除く小坂地区、十和田地区、花輪・尾去沢地区(花輪地区と尾去沢地区は合同で実施)、八幡平地区に分けて実施した。このほかに聞き取り調査を追加で行った地区などもある。

令和4年度・5年度に実施した地域ワーキングにおいて、参加した各地区の住民が大切にしていきたいものは主に以下のとおりである(詳細については資料編参照)。この地域ワーキングで出された文化財は未指定文化財に含めた。

#### ●小坂地区十和田湖区域

十和田湖(十和田湖が生み出した自然)、ヒメマス、和井内神社、十和田神社、十和田参詣の遺構

#### ●十和田湖区域を除く小坂地区

農村の信仰(神社)と祭り(万谷<sup>まんや</sup>大太鼓)、小坂鉱山による近代遺産群と産業(アカシア、養蜂)

#### ●十和田地区

盆踊(及び大太鼓)、信仰(月山神社、大円寺、集落の神社)、茂谷山<sup>もや</sup>への親しみと八郎太郎伝説、温泉、大湯環状列石

#### ●花輪地区

花輪祭り(花輪ねぶた、花輪祭の屋台行事)、コミセ(コモセ)、農村の信仰(下川原駒踊、虫送り)、山岳信仰(五ノ宮嶽～皮投岳～三倉山)、集落の神社・寺院、伝説・民話

#### ●尾去沢地区

尾去沢鉱山を中心とする伝説・民話、大森親山獅子大権現舞、からめ節金山踊り、鉱山関連施設、井戸、三光塚<sup>さんこうづか</sup>

#### ●八幡平地区

大日堂舞楽に関する事柄(大日靈貴神社、天照皇御祖神社、大里駒形神社、長嶺毘沙門神社<sup>ながみね びしゃもん</sup>、伝説・民話、四角刈り<sup>すま</sup>)、年中行事(七夕<sup>かわべ</sup>の綱引き、水沢盆踊太鼓)、農村の信仰(湯瀬神明社、長嶺八幡神社、大里川原稻荷神社、集落の神社、五ノ宮嶽山道の刈り払い、石造物)、鹿角四十二館、自然(作沢沼<sup>さくさわぬま</sup>、サンショウウオ、夜明島溪谷、シダレカツラ、長嶺毘沙門神社の大公孫樹<sup>おおいちよう</sup>)

序  
章

第  
1  
章

第  
2  
章

第  
3  
章

**第  
4  
章**

第  
5  
章

第  
6  
章

第  
7  
章

第  
8  
章

第  
9  
章